

令和3年度社会福祉法人正清会事業報告書

法人の基本理念である「尊厳」「敬愛」「和」の具体的な実践のため、令和3年度のテーマを「ニューコロナ禍の逆境をみんなで考え、みんなで乗り越えよう！～いつまでも必要とされる正清会であるために～」として、法人全体として

- 稼働率の維持・向上
- 経費の節減
- 人材の確保・定着・育成
- 地域開放・地域貢献
- 防災への取り組み

の5項目の重点目標を掲げて取り組みました。

【重点目標に対する取り組み】

1. 稼働率の維持・向上

- 1) 入居者・利用者・家族の満足度の向上を目指し、個別ケア・ユニットケアの充実に取り組んだ。コロナ禍の中で、三蜜を避けた小規模な行事を各事業所で企画・実施した。
- 2) 感染症・災害等への対応力の強化を目指した。特に新型コロナウイルス感染予防に注力し、阿知須共立病院と連携して、ワクチン接種を行い、入居者・利用者、職員が感染者との接触がないか把握に努めた。また、福祉避難所の指定に向けた準備を行う等、災害時の対応力を高め、入居者・利用者の安全・安心な暮らしの提供に努めた。
- 3) 地域包括ケアシステムにおける役割の強化を目指し、介護職員基礎研修・認知症介護実践者研修への参加、医療と連携した感染症の防止に取り組んだ。
- 4) 自立支援・重度化防止の取組みを行った。認知症予防や機能訓練、口腔ケア、栄養マネジメント等それぞれに個別対応を行った。
- 5) LIFE を活用した科学的介護に取り組んだ。各事業所で加算取得を目指し課題の抽出、対策を検討し、特別養護老人ホーム白松苑、白松苑デイサービスセンター、賀宝の里白松苑、賀宝の里白松苑デイサービスセンターで加算を取得した。
- 6) 営業・広報活動として、ホームページの更新を行った。特に求人ページ（スタッフインタビュー）や、賀宝の里白松苑のページは大幅なりニューアルを行った。

2. 経費の節減

- 1) コロナ禍にあって、職員が濃厚接触者になる等で介護力の低下を余儀なくされたが、業務を効率化することにより、サービスの低下を留めた。また消毒薬やマスク等の衛生材料の価格が高騰する中、適正な価格での入手に努め、入居者の暮らしの質を落とさずに、経費を削減した。
- 2) 施設運営コストの削減に取り組み、特に電気代について、特別養護老人ホーム白松苑でデマンド管理ができないか、過去の電気代を把握する等、節減対策に取り組んだ。また水道代についても節水器具の効果検証等を行い節水に取り組んだ。引き続き次年度も取組み、光熱水費の節減を目指す。
- 3) 費用対効果の改善のため、事務用品、介護用品等の種類や購入先を一部見直した。

3. 人材の確保・定着・育成

- 1) ベトナムから技能実習生2名を受入れ、業務指導、生活サポートを行った。
- 2) 働きがいのある、魅力ある職場づくりのため、職場改善プロジェクトチームの会議を毎月開催し、業務の改善や職員の士気の高揚に努めた。
- 3) 新任の職員について、研修内容を一部見直し、丁寧に指導していくよう努めた。

4. 地域開放・地域貢献

- 1) ポストコロナに対応した ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) の活用により地域との交流を深め、オンライン会議や打ち合わせ、面会、地域行事に積極的に参加した。
- 2) 山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会に入会し、市南部地域の副会長を務め、特に地域公益活動の中心的な役割を担った。

5. 防災への取り組み

- 1) 業務継続に向けた取組の強化としてBCPの策定に取り組んだ。年度途中で防災ハザードマップの変更により、特別養護老人ホーム白松苑が、従来の高潮に加え、大雨による洪水の浸水区域に指定されたため、計画の完成には至らなかったが今年度中には完成させる予定である。
- 2) 地域自治会と防災協定を締結し、また市の福祉避難所指定に向けた準備を行い、関係機関との連携を強化した。

法人本部

1 理事会

- 1) 日時：令和3年6月2日 16:00~17:00 場所：白松苑会議室

理事総数6名、出席者：理事6名 監事1名

議事 議案第1号 令和2年度事業報告並び決算の承認

議案第2号 評議員の選任・解任委員会の委員の選任

議案第3号 評議員の選任・解任委員会の招集

議案第4号 評議員会の招集

議案第5号 評議員の推薦

議案第6号 理事並びに監事の推薦

報告事項 理事長の職務執行状況

- 2) 日時：令和3年6月18日 15:00~15:15 場所：白松苑2階会議室

理事総数6名、出席者：理事6名 監事2名

議事 議案第1号 理事長の選出

- 3) 日時：令和4年3月4日 16:00~17:20 場所：白松苑会議室

理事総数6名、出席者：理理事5名 監事2名

議案第1号 令和3年度補正予算について

議案第2号 土地の取得(駐車場用地)について

- 議案第3号 令和4年度事業計画並びに収支予算について
- 議案第4号 諸規定等の改正について
- 議案第5号 評議員会の開催について
- 報告事項 理事長の職務執行状況について

2 評議員会

- 1) 日時：令和3年6月18日 14:00～15:00 場所：白松苑会議室
評議員総数7名、出席者：5名、議長：藤井宏三評議員
議事 議案第1号 令和2年度事業報告並び決算の承認
議案第2号 理事並びに監事の選任
報告事項 前回評議員会以降の運営状況
- 2) 日時：令和3年3月24日 14:00～14:50
評議員総数7名、出席者：5名、議長：藤井宏三評議員
議事 議案第1号 令和3年度補正予算について
議案第2号 土地の取得（駐車場用地）について
議案第3号 令和4年度事業計画並びに収支予算について
議案第4号 諸規定等の改正について
報告事項 理事長の職務執行状況について

特別養護老人ホーム白松苑

1 事業概要

ユニットケアの目的を踏まえた業務の推進と個別ケアの徹底を目指しました。新型コロナウイルス感染防止に努めながら、入居者の希望に添い、健康で安全な暮らしを提供するように、事故防止、褥瘡予防、感染症防止に努めました。地域に信頼される施設運営を行いました。

2 主要事業

1) 経営の安定化を図る

稼働率向上プロジェクトチームを中心に介護力に配慮した入居・利用の積極的な受入れを行った。待機者の中から新規入居者を早めに調整する事で可能な限り、早く入居できる様、調整を行う事で昨年度より特養稼働率は向上した。また、新加算の算定を行った。

2) ユニットケア（個別ケア）の充実

ユニットケア推進委員会を中心に、研修会の開催やユニット費活用を進め、個別ケアの推進に努めた。

3) 感染症予防対策、褥瘡予防対策及び事故予防対策の充実を図る

①新型コロナウイルス感染防止に取組み、医療機関と調整しながら入居者・職員のワクチン接種の調整。各種行事等を見直し、三密を回避、職員の毎日の検温、毎日手すりやドアノブなどの消毒・苑内の定期的な換気等を行った。

② 褥瘡予防委員会を中心に、褥瘡の早期発見、治療に取り組み、褥瘡発症者の減少に取り組んだ。

4) 働きやすい職場環境づくりを推進

職場環境プロジェクトチームを中心に苑内での課題について議論、積極的な意見交換を行う事で職員の参加しやすい苑内研修の時間見直し等の業務改善、必要な物品購入、夜間受診の際、リフト車を運転する介護職の個別指導を行う事で風通しのよい職場づくりに努めた。

5) 経費削減への取り組みを行う

コロナ禍において衛生材料の価格が高騰する中、安価なマスクや消毒薬を購入し、経費の削減に努めた。電気代について、特別養護老人ホーム白松苑でデマンド管理ができないか、過去の電気代を把握する等、検討を行った。また水道代についても節水器具の効果検証等を行った。引き続き次年度も取組み、光熱水費の削減を目指す。

6) ICTを活用した家族や地域との交流

県外家族とパソコンを使用した定期的なオンライン面会を行った。

3 介護保険の実績

()は前年度

	入所定員	稼働率 %	平均要介護度	年間利用人員 (延べ)
正規入居者	100	93.3 (88.6)	3.87 (3.78)	34,038 (32,322)
短期入所	20	82.4 (85.5)	2.23 (2.45)	6,016 (6,240)
利用者総数	120	91.4 (88)	3.62 (3.57)	40,054 (38,561)

4 季節の行事等

実施時期	内 容
5月	母の日行事 (各ユニットで実施)
6月	父の日行事 (各ユニットで実施)
8月	地藏尊大祭 (住職による読経は中止)
9月	敬老会
12月	クリスマス会 (各ユニットで実施)
1月	お正月お祝い膳
2月	節分行事
3月	ひな祭り

5 定例的又は随時行われる娯楽等

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1) 誕生日のお祝い | 毎月 (各ユニットで個別にお祝い) |
| (2) 苑内ショッピング | 毎週注文による配達 |
| (3) 一般買い物 | 必要の都度随時 |
| (4) ミニ喫茶 | 毎日 午前午後 |
| (5) ぬり絵・ちぎり絵 | 希望時 随時 |
| (6) 習字クラブ (個別対応) | 希望時 随時 |

6 ボランティア等による舞踏等

すべて中止
阿知須幼稚園へ利用者の手づくりカレンダーを手渡す

7 健康・衛生に関する事業

実施時期	内 容
5月	職員の定期健康診断（夜勤者・腰痛検診）
11月～3月	職員の定期健康診断（全員・腰痛検診）
11月	入苑者・職員 インフルエンザ予防接種
4月～1月	入苑者・職員 新型コロナ予防接種
毎週 月・金	医師による回診
毎月1回	衛生委員会及び産業医による巡回指導
随 時	口腔ケア及び指導
毎月2回	訪問散髪（きらら、ゆうとぴあ）
毎月1回	厨房職員検便（6月～9月は月2回）
毎月1回	ゴキブリ駆除（厨房12回、居室その他年2回）
入居者入居時	入居時健康診断
入苑者誕生月	入居者定期健康診断（レントゲン9月）

8 家族との連携に関するもの

全家族へ毎月入居者のお過ごしの様子を写真にて送付
コロナ感染状況に応じた面会受入れ（窓越し・地域交流ホールにて）

9 地域交流に関する事業

- 1) ボランティアの受け入れ
受入れなし
- 2) 山口市いきいき百歳体操出張指導
依頼なし
- 3) 介護予防出張講座
依頼なし

10 実習生等の受け入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
社会福祉士	YIC 看護福祉専門学校	3	51
社会福祉士	宇部フロンティア大学	1	23
社会福祉士	ILP お茶の水医療福祉専門学校	1	15
介護福祉士	中村女子高等学校	6	63
介護福祉士	YIC 看護福祉専門学校	1	18
合 計		12	170

11 体験学習

体験学習種別	学 校	実人数	延人数
福祉の仕事インターシップ	誠英高等学校	1	3

1.2 建物補修及び設備・機器の更新等

玄関タッチスイッチ工事（オーカ装置工業（株））	108,900 円
1F汚物流し詰まり高圧洗浄修理（三建設備工業（株））	107,800 円
WINCARE 関連 サーバー（1台）	540,760 円
WINCARE 関連 パソコン（3台）	496,584 円
WINCARE 関連 WINCARE ソフト	1,403,600 円

白松苑デイサービスセンター

1 事業概要

IADL（手段的日常活動動作）を意識し、洗濯や簡単な調理を通して、身体を動かす機会を多く持ち、やりがいを感じて役割を持ってもらえるような働きかけを行いました。歩行（散歩）を希望される方が多いため、万歩計を付けて屋内外目標値を設定し個別に取り組みました。

また、地域を基盤とした高齢者の自立支援のため総合的な取組として、日々の個別用課題メニューを増やして個別にファイル。できるだけ自身で準備、片付けを行っていただき、脳トレ用のプリント等も自主的に選択できるようにすることで個別化を図り、多種多様なレクリエーションを通して認知面への働きかけも積極的に行いました。

コロナ禍の中で少しずつ外出する機会を増やし、少人数でのドライブや道の駅横の各種お花見等行いました。誕生会は毎月開催して各利用者ごとの誕生日カードを作成し、利用者からも大変喜ばれ、利用促進の向上に繋がるよう努めました。

体験利用を希望される方は積極的に受け入れ新規利用に繋がるよう努めました。（体験利用 18名、うち 15名契約、体験利用せずに契約 4名）

ハード面は特に大きな変更は行っていませんが、入口周辺の片付けや棚の目隠し等環境整備に努めました。

2 主要事業

1) 在宅生活の継続を念頭にした、援助内容の見直しと質の高い個別ケア・機能訓練の実践

①個別対応の強化として、ADLに合わせた制作活動、歩行訓練を兼ねた散歩等サービス利用への柔軟な対応に努めた。

②家族、ケアマネジャー、関係者との緊密な情報共有を図ることで、徹底した個別ケアや機能訓練を展開した。

③外部研修や内部研修・職員定例会議を通して、利用者にあったケアの習得・質の高いサービスの提供に心がけた。

2) 職員の接客力、チームワーク、モチベーションの向上

①内部研修や外部研修を通して、利用者に対する配慮やもてなし、気配りなどの接客力の向上に努めた。

3) 利用者の満足度のアップと稼働率の増加に向けた対策

①日々のレクリエーション実施と個別課題の充実をはかり、稼働率の向上となるよう努めた。

3 介護保険事業の実績

()は前年度

利用定員	稼働率%	平均要介護度	営業日数 309 日 一日平均利用者 15.0 (18.3) 体験 18 名
30	50.0 (60.9)	1.50 (1.74)	

4 季節の行事等

実施時期	内 容
4 月	花見 (桜) ※主に車窓
6 月	運動会
1 2 月	クリスマス会
2 月	節分

5 ボランティア等による舞踏等

すべて中止

6 実習生等の受入れ

実 習 種 別	学 校	実人数	延人数
介護福祉士	中村女子高等学校	6	18
福祉の仕事インターンシップ	成進高等学校	1	3
介護等体験 (教員)	山口学芸大学	1	5
介護等体験 (教員)	福岡女子短期大学	1	5
合 計		9	31

7 建物補修及び設備・機器の更新等

公用車修理	保険適用
-------	------

グループホーム白松苑

1 事業概要

『一人ひとりの思いを把握し、穏やかで楽しく生活していただくよう寄り添う介護に努める』を基本方針に、「その人らしい暮らしを支える」、「家族のように共に生活する。」、「地域の方とふれあいを持つ」という事業所理念のもと、地域と一体的なグループホームを目指すことに取り組みました。

2 主要事業

1) 稼働率の目標 97.8% (定員 18 名)

①入院等で 97.8%には届かなかったが、早期の入居調整などに取り組んだ。

2) 感染症・事故対策の実施。

- ①換気や消毒を行うことで、感染症による入院等を防ぐことができた。
- ②体操や散歩等を積極的に実施し、転倒事故の軽減に取り組んだ。
- 3) 認知症ケアの質を高め、利用者に寄り添った個別ケアを行う。
 - ①生け花・レクリエーション・カラオケ・脳トレ、食事時間や場所の調整、居室の設えなどの個別対応を強化した。
 - ②一人ひとりの症状への対応や困難事例をはじめ、毎月認知症についての職員勉強会を開催した。
- 4) ICTを活用した地域との交流の方法や運営推進会議の開催の検討。
 - ①ICTを活用した外部研修への参加。
 - ②ICTを活用した地域との交流や運営推進会議の実施までには至らなかった。

3 介護保険事業の実績

()

は前年度

入所定員	稼働率 (%)	平均要介護度	年間利用人員 (延べ)
18	94.0 (96.9)	2.47 (2.50)	6,175 (6,366)

4 季節の行事等

実施時期	内 容
4月	花見(桜、芝桜)、ドライブ
5月	母の日、かしわもち作り、阿知須幼稚園に手作りカレンダーを贈る、誕生会
6月	七夕飾り作り、防災訓練、誕生会
7月	七夕、ドライブ、誕生会
8月	すいか割り、誕生会
9月	敬老会、阿知須幼稚園に手作りカレンダーを贈る、誕生会
10月	十五夜、お茶会、誕生会
11月	焼き芋、誕生会
12月	干支(とら)粘土細工作り、餅つき、クリスマス会、防災訓練、誕生会
1月	おせち料理、初詣、阿知須幼稚園に手作りカレンダーを贈る、誕生会
2月	節分(豆まき)、誕生会
3月	花見(桜)、防災訓練、誕生会

※新型コロナウイルスのため、多くの行事や外出を自粛

5 運営推進会議

月 日	出席者数	協議内容
4月	なし	新型コロナウイルスのため、書面にて活動報告
6月	なし	新型コロナウイルスのため、書面にて活動報告
8月	なし	新型コロナウイルスのため、書面にて活動報告
10月	なし	新型コロナウイルスのため、書面にて活動報告
12月	なし	新型コロナウイルスのため、書面にて活動報告
2月	なし	新型コロナウイルスのため、書面にて活動報告

6 ボランティア等による舞踏等

すべて中止

7 実習生等の受入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
介護福祉士	Y I C 看護福祉専門学校	2	6
合 計		2	6

8 建物補修及び設備・機器の更新等

フローリング張替 (YF ホーム)	1,849,540 円
丁番取替 (YF ホーム)	366,300 円

白松苑居宅介護支援事業所

1 事業概要

『自立支援のためのきめ細やかな相談対応』を目標に、利用者一人ひとりの意向を尊重することで、安心と安全のある自宅生活が継続できるサービスを、また、ご家族にとっては介護負担の軽減を図ることのできる介護支援サービスを実施してきました。施設入所や長期入院を余儀なくされた利用者もおられました。利用者が自宅において少しでも自立できるようなサービスの取り組みを行うことができました。

コロナ禍の影響で研修や事例検討の機会は減少しましたが、地域包括支援センターや他の居宅サービス事業所と緊密な連携を図ることに心がけ、利用者にとって総合的かつ効率的なサービス提供に役立てました。

2 主要事業

1) 利用者の自立支援と満足度の向上

- ①可能な限り研修に参加し、マネジメント力の向上に努めた。
- ②ケアマネジャー2人体制で支援を行い、事業所内での話し合いや他事業所との連携を図り、利用者の自立支援と満足度の向上のための介護サービスとインフォーマルな支援の提供を行った。

2) 関係機関との密接な連携による迅速な対応

- ①地域包括支援センターとの連携を密にし、利用者だけでなくその同居家族に対しても支援していく体制を図った。
- ②各種居宅サービス事業所、医療機関及び他の関係機関との連携により、利用者の状態把握を適確に行い、リアルタイムにサービスが提供できるよう努めた。

3) 専門的知識及び技術の習得・向上

- ①コロナ禍のため、例年に比べ外部研修への参加は減少したが、定例の居宅支援部会や主任介護支援専門員更新研修受講のための要綱研修等への参加を通して、専門的知識及び技術の習得・向上に努めた。

3 事業実績 (訪問回数)

年 度	年 間	月平均	年 間	月平均	年間計	月平均		
令和3年度	要介護	565人	48.0人	要支援	12人	1人	577人	48.0人

令和2年度		629人	52.4人		12人	1人	641人	53.4人
-------	--	------	-------	--	-----	----	------	-------

賀宝の里白松苑

1 事業概要

令和3年度の運営テーマは、「考える」。職員に対する理念（法人理念、事業所理念、ユニットケア理念）の理解と周知徹底を行いつつ、あらゆる面において職員一人ひとりに考えてもらうことで、的確な判断に基づいた自主的かつ積極的な対応が図れるよう取り組んできました。中でも、共有空間における設えの充実化、各種委員会活動における取り組みにおいては、積極的な面も見受けられ一定の成果が上げることができました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を優先する事業運営となり、ユニットリーダー実地研修においても、その影響により受入れができませんでした。

2 主な取り組み

1) 経営面

- ・目標としていた稼働率（特別：97%、SS：99.9%）及び収益（過去最高額）ともに達成できなかったものの、高い平均介護度が維持できたことで大きな減収には至らなかった。
- ・経費見直しとコストカットを実施。電気代においてはデマンド値を90から88に設定したことで約2%の削減、おむつ類の経費においては年間約70万円の削減となった。また、福祉用具については購入からレンタルに切り替えたことで単年度における支出を抑えた。

2) サービス提供及び業務内容

- ・各部署及びユニットにおいて年間の具体的な目標を設定し、毎月その進捗状況の報告と評価による現状分析・フィードバックを行った。
- ・現場向けの総合的ガイドブック「ユニットケアの実践」の作成は、継続して取り組みを行った。
- ・アセスメントシート、24Hシート、一覧表、ケアプラン更新においては、遅滞なく定期的な作成がなされた。また、ユニットケア推進センターからの実地研修施設更新調査（自己チェック）を受け、不備な点に対する改善に取り組んだ。
- ・個々のニーズに応じた福祉用具の整備は、レンタルという形で随時、充足を図った。
- ・各種委員会では、具体的な役割や取組内容を随時提示し、理解の向上に努めた。不十分ながらも、ある程度は機能が発揮できるようになった。

3) リスクマネジメント

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策は、昨年度に引き続き職員の行動自粛、入居者の面会制限、業者の立入禁止等により予防対策の強化と徹底を図った。職員数名に感染者が発生したが、関係機関や保健所との連携のもとで対処し、入居者や他職員への感染拡大には至らなかった。
- ・事故防止においては、毎月の賀宝運営会議での各部署・ユニットからの事故・ヒヤリハット報告により情報共有し、事故の軽減に努めた。

4) 人材の確保・定着・育成

- ・目標に掲げた本来のユニットケアが発揮できるだけの介護職員を確保することができなかった。
- ・各職種・段階ごとの人材育成マニュアルの作成に取り組んだが、未だ作成途中となった。

- ・ 賀宝オリジナルのホームページを開設。施設内の出来事や活動などを随時アップし、施設の認知度の向上と求人活動に向けた取り組みを行った。

5) 施設・設備管理

- ・ 大きな補修として、居室エアコンの取替え、スプリンクラー部品交換、居室の天井補修を実施。

6) 地域公益的活動

- ・ 自治会活動や地域行事においては、新型コロナ感染症の影響により不参加。年度末より自治会の会合には出席。
- ・ 「土砂災害・全国防災訓練」において、山口市では「土砂災害に係る避難指示を想定した情報伝達訓練」が実施され、ファックスを使用した情報伝達を行った。

3 介護保険事業の実績

() は前年度

	定員	稼働率 %	平均要介護度	年間延べ利用人員
特 養	30	92.9 ↓ (97.5)	4.14 ↓ (4.03)	10,170 ↓ (10,678)
短期入所	7	93.1 ↑ (91.9)	2.94 ↑ (2.69)	2,379 ↑ (2,349)
合 計	37	92.9 ↓ (96.5)	3.91 ↑ (3.79)	12,549 ↓ (13,027)

4 季節行事及び定例・随時行事

実施時期	内 容
4 月	花まつり (中止)、清光園祭 (中止)、ユニット単位での花見
5 月	母の日行事 (各ユニットで実施)、教證寺説法 (中止) * 寄付あり 河内神社春祭り (中止)
6 月	父の日行事 (各ユニットで実施)
7 月	七夕行事 (各ユニットで実施) 賀宝花火の夕べ (職員駐車場にてユニット毎に実施)
8 月	佐山地区盆踊り (中止)、J A そうめん流し (中止)
9 月	賀宝敬老祝賀会 (各ユニットにて表彰・全体での余興なし) 佐山地区敬老会 (中止)、佐山地区防災訓練参加
10 月	教證寺説法 (中止)
11 月	佐山地区ふるさとまつり (中止)、川西地区収穫祭 (中止)
12 月	もちつき・たこあげの会 (餅つきは中止し、ユニット毎にイベント実施) 阿知須幼稚園交流会 (中止)、佐山小 4 年生総合学習 (中止) ほっこりコンサート開催、年末大掃除 (ワックスがけ)
1 月	初詣 (ユニットごとに実施)、お正月お祝い膳 佐山地区七草がゆ交流会 (不参加)、佐山地区どんと焼き (不参加)
2 月	節分 (各ユニットにて豆まき実施)
3 月	ひなまつり (各ユニットで実施)

5 娯楽・余暇活動

①お散歩カフェ	毎月1回	
②各種サークル活動	毎週1回	*生け花・映画鑑賞・カラオケ・ハンドメイド
③朝のイトウの会	平日毎朝	*口腔・嚙下体操
④各種ボランティアサークル		
・歌おう会	隔月1回 (ボランティア対応)	中止
・詩吟教室	毎月1回 (ボランティア対応)	中止
・茶道の会	毎月1回 (ボランティア対応)	中止
・習字教室 (佐山ありの会)	隔月1回 (ボランティア対応)	中止

6 ボランティアの受入れ (DSと一体的に対応) *昨年度に引き続き、全面的中止

実施時期	内 容
4月	・花まつり (教證寺住職・仏教婦人会)
5月	・ギター演奏 (おじさんズ) ・歌おう会 (コスモス)
6月	・フラダンス・銭太鼓 (佐山健康銭太鼓)
7月	・歌おう会 (コスモス)
8月	・サンバ (JA山口中央)
9月	・歌おう会 (コスモス) ・敬老会での催し
11月	・ギター演奏 (おじさんズ) ・歌おう会 (コスモス) ・窓ふき奉仕清掃 (仏教婦人会)
12月	・もちつき・凧づくり・凧上げ教室 (佐山ありの会、地域有志) ・フラダンス・銭太鼓 (佐山健康銭太鼓)
1月	・歌おう会 (コスモス)

7 健康管理・衛生管理

実施時期	内 容
4月～5月	介護職員の特殊健康診断 (夜勤者・腰痛検診5月)
6月	入居者レントゲン健康診断 (結核)
10月	インフルエンザ予防接種 (入居者、職員)
11月	職員定期健康診断 (全員、腰痛健診)
毎週水曜日	配置医師による回診
毎月2回	歯科医師又は歯科衛生士による口腔ケア及び指導
毎月1回	訪問理美容 (カンテック)
毎月1回 (6月～9月は月2回)	厨房職員検便
毎月1回	ゴキブリ駆除 (厨房12回、居室その他年2回)
毎月1回	害虫駆除 (厨房:小蠅 /外周:ムカデ)
入居者の入居時	入居前健康診断
入居者の誕生日	入居者定期健康診断
職員の採用時	雇用前健康診断

8 家族との関わり

- 1) 広報誌「かがほの風」及び「相談員だより」の配布 ……毎月発行・送付
- 2) カンファレンスへの参加、ケアプランの同意等 ……各ケースともに6カ月ごとの実施
- 3) 新型コロナ感染拡大防止対策によるオンライン面会・ガラス越し面会の実施 ……随時
*行事等への参加は全面的に禁止

9 地域交流・公益的活動

1) 自治会活動参加

名 称	実 績	延人数 (前年度)
河内神社春祭り (ふきあげ会出店の手伝い) *中止	年間 1回	0 (0)
出口溜池管理道・公園等の草刈清掃	年間 2回	4 (4)
佐山地区溝普請	年間 2回	6 (6)
お薬師様接待・後片付け *盆踊り会場設営は中止	年間 1回	1 (0)
地域合同自主防災訓練・炊き出し参加	隔年 1回	0 (0)
佐山地区ふるさとまつり実行委員会出席 *中止	年間 1回	0 (0)
自治会役員会、班長会議への出席 *総会は中止	年間 6回	6 (0)

2) 介護予防出張講座 (DSと一体的に対応)

日時	テーマ	地区	主 催	参加者	講 師
5/14	生活習慣病の予防	佐山	たんぼぼの会	10人	介護福祉士
7/23	転倒骨折予防	小郡	きらめきサロン	28人	社会福祉士
12/125	食事の工夫	小郡	山口老人クラブ連合会	40人	管理栄養士、他

3) 土砂災害に係る避難指示を想定した情報伝達訓練 (山口市) の参加

日時：令和3年6月1日

内容：ファックスを使用した情報伝達訓練

10 実習生の受入れ *昨年度に引き続き、すべて中止

実 習 種 別	実 習 機 関	実人数	延人数
ユニットリーダー実地研修	ユニットケア推進センター	0人	0人

11 体験学習 (DSと一体的に対応) *昨年度に引き続き、すべて中止

- ・川西中学校職場体験学習 0名
- ・山口県身体拘束ゼロ推進員養成研修 0名 *アドバイザー施設における事例紹介
- ・佐山小学校4年生総合学習 0名

12 施設見学、個別相談事業 (市社協) の受入れ *昨年度に引き続き、すべて中止

- ・対外的施設見学 0件
- ・個別相談 0名

13 施設維持補修等

建物設備の補修（居室壁修理、ユニット天井補修、エレベーター地震感知器等）	244,200 円
施設内通信設備の修繕（PHS 電話、無線 LAN 修理、パソコン修理 等）	90,712 円
居室エアコン取替工事費（3 居室）	201,047 円
厨房関係機器の部品交換等	288,543 円
防災関係設備の補修（スプリンクラー部品交換等）	72,520 円
新型コロナ感染症感染拡大防止関連（顔認証温度検知システム 他）	242,595 円

賀宝の里白松苑デイサービスセンター

1 事業概要

令和3年度の運営テーマは、「考える」。デイサービスセンターとしての理念（「自宅での暮らしの継続」）を職員一人ひとりが理解し、理念に基づいたサービスの提供を行っていく上で、通所介護事業所としての役割について常に考えながら業務にあたるよう努めてきました。特に、今までのやり方や考え方を改め、利用者個々の利用目的をしっかりと捉えたサービス提供の仕方に体制をシフトしていくよう試みました。

昨年度に引き続き、新型コロナ感染拡大防止対策を優先する事業運営となったが、稼働率においてはその影響はあまり受けませんでした。

2 主な取り組み

1) 経営面

- ・目標としていた稼働率（85%）は長期入院・入居の利用者が多かったため10%も下回ったが、通所介護における平均介護度（1.5）は維持することができた。総合事業における稼働率の低迷が大きかった。
- ・積極的な加算の取得を目指し、早い段階でL I F E 関連の加算は取得したが、他の加算では職員配置の問題があったため取得を断念した。
- ・新規利用者の獲得や体験利用の受入れについては、各事業所のケアマネや地域包括支援センターに対して積極的に情報交換を行うなど、密な連絡を取り合うことに努めた。

2) サービス提供及び業務内容

- ・利用者個々のニーズや目的を充分把握（アセスメント）し、それに沿った内容のサービスが提供できるようにアクティビティメニューを体系化し、合わせて職員も機能的に対応できるような体制づくりに努めた。（賀宝ホームページのデイサービス編に掲載）
- ・当日担当制を継続していったことで、職員の責任感と自覚がある程度向上した。
- ・各種委員会では、具体的な役割や取組内容を随時提示し、理解の向上に努めた。不十分なながらも、ある程度は機能が発揮できるようになった。

3) リスクマネジメント

- ・新型コロナ感染拡大防止対策は、昨年度に引き続き職員の行動自粛、入居者の面会制限、業者の立入禁止等により予防対策の強化と徹底を図った。
- ・事故防止においては、毎月の賀宝運営会議において事故・ヒヤリハット報告により特養との情

報共有を図り、事故の軽減に努めた。

4) 人材の確保・定着・育成

- ・正規職員一名が育休中にて、代替え職員の雇用もできず、利用者のニーズに応じた個別対応が徹底できるだけの十分な人材確保ができなかった。
- ・主任を中心に各職員が目標意識を強く持ち、判断力の向上のために一定の業務を任せるという取り組みを行った。
- ・介護職員の段階ごとの人材育成マニュアルの作成に取り組んだが、未だ作成途中となった。
- ・賀宝オリジナルのホームページを開設。施設内の出来事や活動などを随時アップし、施設の認知度の向上と求人活動に向けた取り組みを行った。

5) 施設・設備管理

- ・大型エアコンの取替え、冬季におけるトイレや脱衣場の暖の確保に努めた。

6) 地域公益的活動

- ・昨年度に引き続き、新型コロナ感染拡大防止のため運営推進会議は資料配布のみとした。

3 介護保険事業・総合事業の実績

()は前年度

	定員	営業 日数	稼働率 %	平均要介護 度	年間延べ 利用人員	一日平均 利用人員
通所介護	18	310 (308)	65.0 ↓ (66.5)	1.50 ↓ (1.59)	3,628 ↓ (3,684)	11.7 ↓ (12.0)
総合事業			9.5 ↓ (14.0)	0.50 ↓ (0.54)	532 ↓ (777)	1.7 ↓ (2.5)
合計			74.6 ↓ (80.5)	1.37 ↓ (1.41)	4,160 ↓ (4,461)	13.4 ↓ (14.5)

4 季節行事及び定例・随時行事

実施時期	内 容
4月	花まつり(中止)、花見
5月	母の日行事(手作りおやつは中止、花束と記念写真で対応)
6月	父の日行事(手作りおやつは中止、花束と記念写真で対応)
7月	七夕飾り作り、おやつ作り(中止)
8月	夏祭り週間行事、ソーメン流し(中止)、
9月	賀宝敬老祝賀会(デイホールにて表彰・全体での余興なし)、 月見団子作り(中止)
10月	芸術の秋作品制作(書道、活け花、ぬり絵)
11月	紅葉狩り、天ぷらパーティー、干支づくり
12月	もちつき・たこあげの会(餅つきは中止、デイホールでイベント実施) ほっこりコンサート開催
1月	新年会(職員による余興)
2月	節分(豆まき)
3月	ひなまつり、藤飾り作成

※毎月、誕生日会（プレゼント贈呈）を実施。ケーキ作りは中止。

5 ボランティアの受入れ ※昨年度に引き続き、全面的中止

1) 年間行事（特養と一体的に対応）

・特養事業報告を参照

2) 定例の受入れ

名 称	実 績	延人数 (前年度)
音楽教室（個人）	毎月 1回	0 (0)
傾聴・話相手（みみの会）	毎月1～2回	0 (0)

6 地域交流・公益的活動

1) 介護予防出張講座（特養と一体的に対応）

・特養事業報告を参照

2) 運営推進会議

開催時期	出席者数	主な会議の内容
10月末	0人	現況報告の資料を配布（7件）
3月末	0人	〃

7 実習生の受入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
なし		0	0

8 体験学習（特養と一体的に対応） ※昨年度に引き続き、すべて中止

・特養事業報告を参照

9 施設見学（体験利用）、個別相談事業（市社協）の受入れ

- ・対外的施設見学 0件 ※昨年度に引き続き中止
- ・体験利用／見学 29名（うち、利用に繋がったケース22名）
- ・個別相談 5名

10 施設維持補修等

車両関係修繕	0円
建物設備関係	0円
その他の維持補修	0円

多機能ホーム遠波の里白松苑

1 事業概要

「家庭や地域での心豊かな生活を支える」を目標に、地域密着型介護サービスの制度の趣旨に基づき、利用者が家庭や地域で普段と変わらない心豊かな日々の暮らしを維持していく為のサービスを、「通い」「訪問」「泊まり」の機能を活用して提供しました。

2 主要事業

- 1) 稼働率の向上
入院者の状況把握や待機者の調整が出来ず稼働率低迷。年平均 91%だった
- 2) 住み慣れた地域、住み慣れた環境の中での生活の維持を念頭にした、援助内容の見直しと実践
 - ①一人ひとりの状況に合わせ、その時々に応じ家族や職員間で協議し臨機応変に対応し在宅生活の継続に努めた。
 - ②家族、事業関係者と緊密な情報提供を図りきめ細かいサービスの提供に努めた。
 - ③コロナ禍で外出する機会は減ったが、利用者のニーズに応じ散歩や体操、アクティビティの充実を図り利用者満足に努めた。
 - ④職員間の連携を図るため連絡ノートを活用、又は口頭で話し合い情報共有に努めた。
- 3) 運営推進会議の充実、地域行事への参加・連携
 - ① コロナウイルス感染防止のため、会議を中止し資料送付のみおこなった
 - ② 地域行事もほとんどが中止となり連絡事項も文章でやり取りされ一方通行だったが、ボランティアの方に窓ふきや草取りをして頂き、間接的な交流が図れた。

3 介護保険事業の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1月あたり
登録	24	25	23	23	21	21	20	21	22	24	25	25	274	22.8
通い	362	374	376	365	369	342	378	351	362	312	341	373	4,305	11.6
泊り	224	245	242	243	252	235	257	227	232	190	210	229	2,786	7
訪問	116	107	124	115	119	103	108	108	110	103	98	123	1,334	3.4
介護度	1.4	1.5	1.6	1.6	1.7	1.7	1.5	1.5	1.3	1.3	1.2	1.3		1.4
稼働率	96	100	92	92	84	84	80	84	88	92	100	100		91

4 季節の行事

実施時期	内 容
4月	花見
5月	端午の節句・母の日行事
6月	父の日の行事
7月	七夕の行事
8月	お菓子作り
9月	月見会・敬老会・お彼岸
10月	ミニ運動会・ハロウィンの行事
11月	コスモス見学
12月	クリスマス会・ゆず湯
1月	習字
2月	節分・バレンタインデー
3月	ひな祭り・ホワイトデー

5 運営推進会議

コロナウイルス感染症予防のため会議は開催せず、昨年同様、奇数月に利用状況や活動報告など

の資料を送付した。